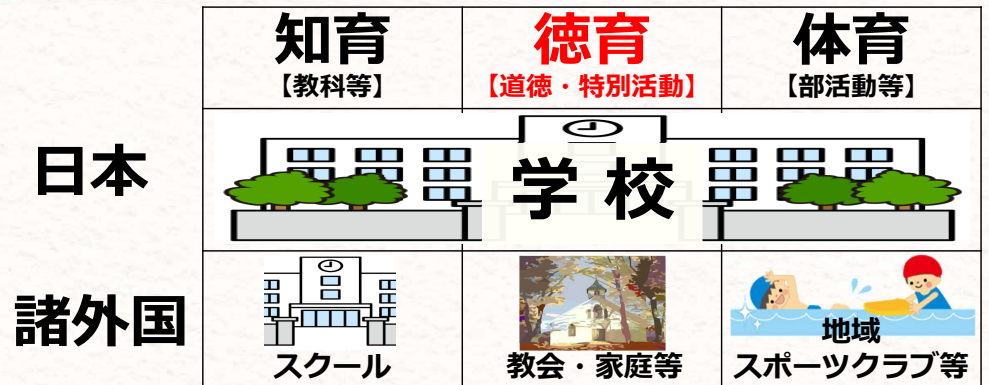


# 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた道徳教育の在り方

文部科学省初等中等教育局教育課程課  
教科調査官 飯塚 秀彦  
国立教育政策研究所/教育課程調査官

## 諸外国からも注目される 日本型学校教育 とは？

- 1 令和の日本型学校教育
- 2 道徳教育の推進・充実のために



- 学校**
- 学習機会と学力の保障
  - 全人的な発達・成長の保障
  - 身体的・精神的な健康の保障



社会背景

急激に変化する時代

- 社会の在り方が劇的に変わる

Society5.0

中央教育審議会

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して  
～全ての子供たちの可能性を引き出す、  
個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）

令和3年1月26日

(以下、「中教審 令和3年答申」)

道徳教育の直接的な言及はない

サイバー空間とフィジカル空間の高度な融合

フィジカル（現実）空間からセンサーとIoTを通じてあらゆる情報が集積（ビッグデータ）  
人工知能（AI）がビッグデータを解析し、高付加価値を現実空間にフィードバック

これまでの情報社会(4.0)

Society 5.0



## 経済発展と社会的課題の解決の両立

イノベーションで創出される**新たな価値**により、格差なくニーズに対応したモノやサービスを提供することで、**経済発展**と**社会的課題を解決**を両立



〔内閣府作成〕

### 社会背景

## 急激に変化する時代

- ・ 社会の在り方が劇的に変わる  
**Society5.0**
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大など先行き不透明な  
**予測困難な時代**

子供たちに育むべき  
資質・能力とは？

Q：この地区のゴミ集積場として最適な場所は？

AI：この地区のゴミ集積場として最適なのは、〇〇さんの家の前です。

- 社会の在り方が劇的に変わる「**Society5.0時代**」の到来
- 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「**予測困難な時代**」



このように急激に変化する時代の中で、我が国の学校教育には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。

（「中教審 令和3年答申」）

この資質・能力とは、具体的にはどのようなものであろうか。

### ○AIの専門家も交えて議論

- ・文章の意味を正確に理解する読解力
- ・教科等固有の見方・考え方を働かせて自分の頭で考えて表現する力
- ・**対話や協働を通じて**知識やアイデアを共有し**新しい解や納得解を生み出す力**，など

### ○どのような時代であっても変わらず重要

- ・豊かな情操や規範意識
- ・自他の生命の尊重
- ・自己肯定感・自己有用感
- ・他者への思いやり
- ・対面でのコミュニケーションを通じて人間関係を築く力
- ・困難を乗り越えものごとを成し遂げる力
- ・公共の精神の育成，など

(「中教審 令和3年答申」)

### 『小学校(中学校)解説 総則編』(p.9)

### 『小学校(中学校)解説 特別の教科 道徳編』(p.2)

このことにより、「特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にあるものと言わなければならない」、「多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢こそ道徳教育で養うべき基本的資質である」との中央教育審議会の答申を踏まえ、発達の段階に応じ、**答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童(生徒)が自分自身の問題と捉え向き合う「考える道徳」、**「議論する道徳」へと転換を図るものである。

「予測困難な時代」であり、新型コロナウイルス感染症により一層先行き不透明となる中、私たち一人一人そして社会全体が、**答えのない問いにどう立ち向かうのかが問われている**。目の前の事象から解決すべき課題を見だし、**主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出すことなど**，正に新学習指導要領で育成を目指す資質・能力が一層強く求められていると言えよう。

(「中教審 令和3年答申」)

### 『高等学校解説 総則編』(p.12)

また、高等学校の道徳教育の目標等については、先に行われた小学校及び中学校学習指導要領の改訂を踏まえつつ、**学校の教育活動全体を通じて、答えが一つではない課題に誠実に向き合い、それらを自分のこととして捉え、他者と協働しながら自分の答えを見だししていく思考力、判断力、表現力等や、これらの基になる主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度の育成が求められている** ことに対応し、公民科に新たに設けられた「公共」及び「倫理」並びに**特別活動**を、人間としての在り方生き方に関する教育を通して行う**高等学校の道徳教育の中核的な指導の場面**として関連付けるなど改善を行った。

- 社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来
- 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」



このように急激に変化する時代の中で、我が国の学校教育には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。

(「中教審 令和3年答申」)

## 学習指導要領の前文

中央教育審議会

## 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～全ての子供たちの可能性を引き出す、  
個別最適な学びと、協働的な学びの実現～ (答申)

令和3年1月26日

(以下、「中教審 令和3年答申」)

中央教育審議会

## 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～全ての子供たちの可能性を引き出す、  
個別最適な学びと、協働的な学びの実現～ (答申)

令和3年1月26日

(以下、「中教審 令和3年答申」)

## 道徳教育の 直接的な言及はない

本日の内容

- 1 令和の日本型学校教育
- 2 道徳教育の推進・充実のために

## 〈学習指導要領前文〉

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成する

# 学校教育の基盤としての 道徳教育

学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

そして、明るい未来を、共に創っていきたい。

2020年度から始まる新しい「がくしゅうしどうようりょう学習指導要領」には、  
そうした願いが込められています。



## 目指すのは

## の実現

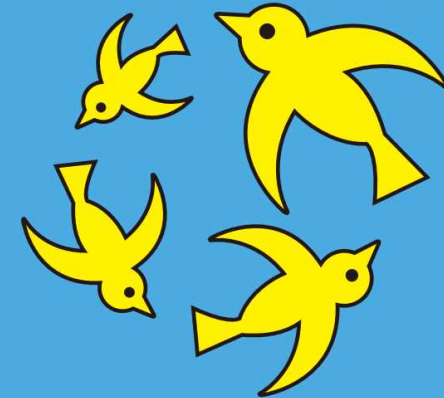
保護者の皆さまや地域の皆さまのお力添えをいただきながら、

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を達成していきます。

子供の未来を変える皆さまと共有したい  
新しい学習指導要領

# 生きる力

学びの、その先へ



学校で学んだことが、明日、そして将来につながるように、子供の学びが進化します。新しい学習指導要領、スタート。  
小学校：2020年度～ 中学校：2021年度～ 高等学校：2022年度～

発刊日は、2018年度に新しい学習指導要領がスタート。特別支援学校は、小・中・高等学校学習指導要領に合わせて実施。

文部科学省

「生きる力」を育むために

## 子供たちの学びはどう進化するのが？

### 主体的・対話的で深い学び

(アクティブ・ラーニング)



一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に  
見通しをもって、粘り強く取り組みが身に付く授業に



周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に  
自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。

### カリキュラム・マネジメント

を確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。



学校教育の効果を常に検証して改善する



教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる



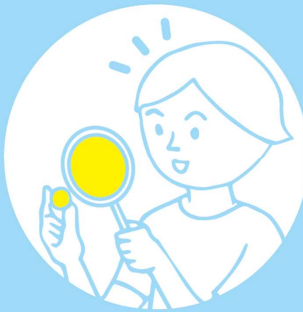
地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

学んだことを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力、人間性など




実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能  
未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、  
三つの力をバランスよく育みます。



一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に



周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に


自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に



学校教育の効果を常に検証して改善する



教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる



地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

「生きる力」を育むために  
子供たちの学びはどう進化するのがいいの?

**主体的・対話的で深い学び** (アクティブ・ラーニング)  
の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。

一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に

周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

**カリキュラム・マネジメント** を確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。

学校教育の効果を常に検証して改善する

教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる

地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

学んだことを人生や社会に生かそうとする  
**学びに向かう力、人間性**など

実際の社会や生活で生きて働く  
**知識及び技能**

未知の状況にも対応できる  
**思考力、判断力、表現力**など

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、**三つの力をバランスよく**育みます。

「生きる力」を育むために  
子供たちの学びはどう進化するのがいいの?

**主体的・対話的で深い学び** (アクティブ・ラーニング)  
の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。

一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に

周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

**カリキュラム・マネジメント** を確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。

学校教育の効果を常に検証して改善する

教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる

地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

学んだことを人生や社会に生かそうとする  
**学びに向かう力、人間性**など

実際の社会や生活で生きて働く  
**知識及び技能**

未知の状況にも対応できる  
**思考力、判断力、表現力**など

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、**三つの力をバランスよく**育みます。

# 何をしていても道徳教育

## 『小学校学習指導要領』第1章第1

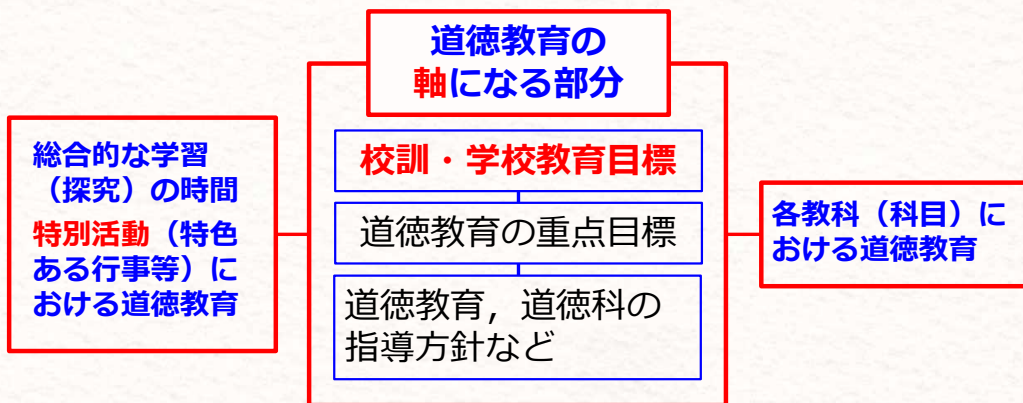
各学校においては、児童（生徒）や学校、地域の実態を適切に把握し、**教育の目的や目標の実現に必要な**

- 教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
- 教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

などを通して

**教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと**（以下「カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする。

➤ **学校の教育活動全体を通じて行う**  
**〈道徳教育の全体計画〉**



## 校訓

## 学校教育目標

## 育成を目指す児童生徒像

# 教職員がこれらに共感し 教育活動に邁進しているか？



**特集**  
 高等学校における  
 カリキュラム・マネジメントの充実

教育小景 瀧澤照廣(株式会社日立製作所 ライフ事業統括本部ヘルスケア事業部スマートセラピー本部 顧問)



「論説」  
 赤沢早人（奈良教育大学教授）  
**各学校がカリキュラム・  
 マネジメントを主体的に  
 推進していくために**



## ➤カリキュラム・マネジメントのための六つの手順

### 第1の手順

各学校の学校教育目標等から資質・能力に相当する要素を抽出する。

### 第2の手順

抽出した資質・能力について、生徒の具体的な「姿」を想定すること。

### 第3の手順

描き出した生徒の「姿」をもっとも引き出したり、伸ばしたりする教育活動を選択すること。

### 第4の手順

選択した教育活動に即して、パフォーマンス課題を設定すること。

## ➤道徳科におけるカリキュラム・マネジメント

### 第1の手順

各学校の学校教育目標等から資質・能力に相当する要素を抽出する。

### 第2の手順

抽出した資質・能力について、生徒の具体的な「姿」を想定すること。

### 〈道徳教育では〉

☆学校教育目標・校訓等から、道徳教育を通して育成したい具体的な子供像＝「姿」を設定〔道徳教育の重点目標〕

## ➤カリキュラム・マネジメントのための六つの手順

### 第5の手順

パフォーマンス課題に基づいて、教育活動を計画・実施すること。

### 第6の手順

教育活動後に、目指す「姿」への接近を評価し、その結果に基づいて取組を改善すること。

## ➤道徳科におけるカリキュラム・マネジメント

### 〈道徳教育では〉

☆学校教育目標・校訓等から、道徳教育を通して育成したい具体的な子供像＝「姿」を設定〔道徳教育の重点目標〕

## ➤道徳科におけるカリキュラム・マネジメント

### 第3の手順

描き出した生徒の「姿」をもっとも引き出したり，伸ばしたりする教育活動を選択すること。

### 《別葉》

内容項目	国語	…	数学	…	学校行事
自主, 自立 自由と責任					
…					
思いやり 感謝	〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇
…					
遵法精神 公德心					
…					
生命の尊さ	〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇

詰め込み過ぎない

→内容項目の重点に力点を置く

### 《別葉》

内容項目	国語	…	数学	…	学校行事
自主, 自立 自由と責任	〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇
…	〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇
思いやり 感謝	〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇
…	〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇
遵法精神 公德心	〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇
…	〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇
生命の尊さ	〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇

## ➤道徳科におけるカリキュラム・マネジメント

### 第4の手順

選択した教育活動に即して，パフォーマンス課題を設定すること。

### 第5の手順

パフォーマンス課題に基づいて，教育活動を計画・実施すること。

## ➤カリキュラム・マネジメントのための六つの手順

### 第6の手順

教育活動後に、目指す「姿」への接近を評価し、その結果に基づいて取組を改善すること。

## ➤道徳教育推進教師として

### 〔小中学校〕

- ・道徳科の授業公開など家庭や地域社会との連携に関すること

### 〔高等学校〕

- ・道徳教育の全体計画の公開など家庭や地域社会との共通理解に関すること

学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

そして、明るい未来を、共に創っていききたい。

2020年度から始まる新しい「がくしゅうしどうようりょう学習指導要領」には、そうした願いが込められています。



## 目指すのは「社会に開かれた教育課程」の実現

保護者の皆さまや地域の皆さまのお力添えをいただきながら、

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を達成していきます。

## 〈参考〉

### 初等教育資料

学習指導要領の趣旨の実現 編集・文部科学省教育課程課/小初教科研

10

特集I

### 豊かな心を育む 道徳教育の充実



巻頭言・子供と教育  
沢沢優一 愛の心を受け継ぐ教育  
小柳光春  
教育の扉  
お札の手紙が響きたくて  
星野富弘

特集II

【音楽】学習指導要領における  
鑑賞指導の充実

### 中等教育資料

中学校・高等学校の授業研究と教育課程の編成・実施のために

3  
No.101B

特集

道徳教育の更なる推進・充実に向けて

教育小景 大森昭生 (札幌学院大学学長・道徳学会学長 教授)



文部科学省教育課程課編集